



角 笛 会 会 報

ホームページ: <http://www.tsunobue.org/>

発行所

日本大学生物資源科学部
校友会 角笛会

〒252-0880

藤沢市亀井野1866

0466-84-3633



巻頭のご挨拶

角笛会会長 中 川 秀 樹 (昭和40年卒)

東京獣医学校、東京高等獣医学校、東京獣医畜産大学、日本大学農獣医学部と伝統が培われ今日の生物資源科学部獣医学科に引き継がれて参りました。この長き歴史の中に記録として残されました卒業アルバム、記録写真、資料などが時間の経過に伴い劣化が懸念されてきました。そこで、110周年記念事業として、後世に継承するために資料をデータ化して保存することが決定されました。完成後は広く会員の皆様に閲覧して頂けます様な方法を検討してまいります。

加計学園岡山理科大学獣医学部の新設が問題となっています。四国地方の獣医師不足を是正することを設立の根拠にしていますが、私も委員に加わりました平成22年に農水省が行った「獣医師の需給に関する検討委員会」に於ける結論は、現状では獣医師数は不足しておらず、不足している分野が存在している問題の要因は処遇にあり、他の分野に劣らない改善が必要との答申でありました。急ぐべきは大学基準協会が定めた教員数を実現すると共にすべての大学に必要な講座を整備することです。

総理大臣の盟友である関係者が経営する大学に、不必要な獣医学部新設が政治力によって認可されれば、社会的にも、獣医学教育にも多大な禍根を残すと共に、今後想定される獣医師の過剰問題が懸念されます。

本年度の総会は平成29年6月24日(土)に日本大学獣医学会と合同開催され、すべての議案が承認されました。3回目となる獣医師採用病院説明会は多くの関係者が参加されて、準会員への就職情報提供がなされました。

第16回日本大学医療系同窓・校友学術講演会は、平成29年10月7日(土)に日本大学会館において共通テーマ国際協力について富永秀雄先生(S45年卒)に「農民の心に火を灯す国際協力」と題して御講演を頂きました。

本年度も事業計画に従い準会員である獣医学科在校生支援を中心に据えて、新入生歓迎会、スポーツフェスタ助成、国家試験会場でのサポート、卒業生の成績優秀者表彰、卒業記念品の贈呈、謝恩会助成、ANMEC研究助成金による研究助成を行います。併せてHPの充実、同窓生と大学の連携に尽力し、情報伝達に尽力してまいります。同窓各位におかれましては、母校の発展と角笛会の隆盛に一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。



ご 挨 拶

獣医学科主任 森 友 忠 昭 (昭和61年卒)

今年4月より、杉谷博士先生の後を受け、学科主任を拝命いたしました昭和61年卒の森友です。会長の中川秀樹先生を始め角笛会の先生方には、日頃より獣医学科の学生教育、研究活動にご支援とご協力を賜り、誠にありがたく存じております。学科教員を代表して厚くお礼を申し上げます。

当獣医学科は、本年3月に138名の卒業生を送り出しました。そのうちの138名が獣医師国家試験に臨み、112名が合格し、合格率は81.2%でした。本年も多くの獣医師を社会に送り出し、新卒業生は既にそれぞれの就職先で活躍を始めております。また、4月には142(男64、女78)名の新入生を迎え、現在の在籍者数は817(男341、女476)名となり、昨年に比べ男子学生の比率が少し高くなりました。

今年3月は、永らく本学の教育に尽力されてきた多くの先生方が定年退職されました。実験動物学研究室の湯川眞嘉先生、医動物学研究室の野上貞雄先生、魚病学研究室の中西照幸先生、獣医病理学研究室の佐藤常男先生、獣医臨床繁殖学研究室の津曲茂久先生、獣医生化学研究室の杉谷博士先生、獣医伝染病学研究室の泉對博先生です。この内、杉谷・泉對先生は引き続き再雇用教授として現職に留まり、また、中西・津曲・佐藤先生は特任教授として、本学で後輩の育成に励まれておられます。また、獣医薬理学研究室の浅野隆司先生や学科事務室・実習助手の入江彩香さん、動物病院・実習助手の小池未記さんも今年の3月でご退職されました。

諸先生方のご退職に伴い、今年4月には、多くの新任の先生をお迎えしました。獣医病理学研究室に近藤広孝先生が専任講師として、獣医産業動物臨床学研究室に住吉俊亮先生が専任講師として、実験動物学研究室に越後谷裕介先生が助教として、魚病/比較免疫学研究室に片倉文彦先生が助教として、医動物学研究室に増田 絢先生が助手として、そして学科事務室には新堀千里さんが実習助手として、附属家畜病院には田崎成美さんが実習助手として、就任されました。また、獣医衛生学研究室の伊藤琢也先生、実験動物学の佐藤雪太先生が教授に、獣医臨床繁殖学の大滝忠利先生が准教授に、獣医衛生学研究室の鈴木由紀先生が専任講師に昇格されました。今年は学科教員の構成が大きく変わり、本学科にとって節目の年になりました。

近年、獣医学教育をめぐる環境はめまぐるしく変化しております。平成26年から全国の獣医大学で“獣医コアカリキュラム”が導入されましたが、これにより獣医学教育科目は、従来18科目であったものが、51科目（19実習科目）と、臨床科目を中心に細分化され、さらに新規科目も増えました。また、今年度からはすべての5年生が病院実習を行うという参加型臨床実習も始まりました。そのため本学でも、これら新規科目や参加型臨床実習に対応した研究室・附属家畜病院体制の強化を進めています。さらに、今年になって“新獣医コアカリキュラム”の制定についての議論が、全国獣医系大学協議会の場で行われました。上記のように、カリキュラムの変更は大学の運営に直結しますので、今後の動向を注視しています。このような中、一部の国立大学では、ヨーロッパ獣医系大学協会（EAEVE）の基準に適合した教育基準を導入する動きを示しています。本基準の遂行には、別次元の高い要求がなされますが、国際化の中、本学もさらなる変革が迫られる時期も近いと思われます。

生物資源科学部においては、受験者数が暫減する中、“今後とも選ばれ続けられる大学として、既存の学科の枠組みを越えた改革が必要”との方針が、大矢学部長より示されました。今後、獣医学科としても学部改革に積極的に関与することはもちろんですが、“資格取得を目的とした6年生教育を行う学科”としての立場も理解していただかねばと思っています。

今回は、大学や獣医学教育の近況についてご紹介を致しましたが、何事においても、当獣医学科の教員だけで成し遂げることはできません。角笛会の先生方との交流を深め、折に触れご意見を頂戴し、それを生かしながら教員一丸となって、よりよい教育・研究の環境作りを推進致したいと思います。

角笛会の皆様には一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共にご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

◆◆◆◆◆ 平成29年度角笛会総会・第55回日本大学獣医学会開催 ◆◆◆◆◆

事務局長 鯉 江 洋

平成29年6月24日（土）、日本大学生物資源科学部1号館 第121講義室において平成29年度角笛会総会および第55回日本大学獣医学会が開催され、多くの会員が集まりました。日本大学獣医学会では永田雅彦担当学会長のもと、口頭発表による10題の



教育講演の様子

一般講演、次いで教育講演として「沈黙の臓器、脾臓を知る」と題し、安井禎先生（獣医解剖学研究室）、近藤広孝先生（獣医病理学研究室）、坂井学先生（獣医内科学研究室）、難波信一先生（マール動物医療センター）、関真美子先生（獣医外科学研究室）により行われました。本年度も一般講演と教育講演の時間を大幅に確保したプログラムとなり、会員53名、学生・ANMEC研修医102名、その他10名と計165名が参加し、また会場からの熱心な質問も多く、内容の充実した学会となりました。

角笛会総会では中川秀樹会長より挨拶があり、北澤浩一議長（昭和54年卒）の進行で審議が行われました。総会に先立ち、諸先生方のご訃報に際し、黙祷が行われまし

た。平成28年度の事業活動および会計収支報告があり、承認されました。また平成29年度の事業活動および予算案が審議され、満場一致で承認されました。角笛会の発展に貢献した角笛会功労者として加藤智久氏（栃木県）、大谷健氏（岐阜県）、花井二六氏（大分県）、屋富祖幸榮氏（沖縄県）の4人に賞状と記念品が授与されました。また日本大学動物病院の獣医臨床技術の向上と臨床獣医学研究の活性化を目的としたANMEC研究助成金は、山崎敦史氏（研究課題：犬の変形性関節症における早期診断マーカーCTX-2の有用性）が授賞しました。総会後、食堂棟3階にて開催された懇親会には大矢祐治学部長、丸山総一学部次長、他学科同僚校友会の来賓、角笛会校友、大学教員そして学部生（準会員）など多数の参加者が集まりました。鳥海弘（昭和50年卒）の乾杯の音頭で開幕し、にぎやかに談笑するうちに時間が流れ、盛会裏に終了しました。

研究助成金の授与式



【第55回日本大学獣医学会プログラム】

会 長：亘 敏広（獣医内科学研究室）

副会長：永田 雅彦（どうぶつの総合病院）、渋谷 久（獣医病理学研究室）担当学会長：永田 雅彦（どうぶつの総合病院）

教育講演 沈黙の臓器、脾臓を知る

座長：亘 敏広（獣医内科学研究室）

1. 脾臓の構造と機能

安井 禎（獣医解剖学研究室）

2. 脾臓の病理

近藤 広孝（獣医病理学研究室）

3. 猫の脾炎

坂井 学（獣医内科学研究室）

4. 犬の糖尿病の今 ～臨床獣医師が抑えておくべき項目～

難波 信一（マール動物医療センター）

5. 脾臓腫瘍の治療

関 真美子（獣医外科学研究室）

一般講演（口頭発表）

座長：小熊圭祐（獣医伝染病研究室）

1. ラット耳下腺腺房細胞のアミラーゼ分泌に対するウリジン三リン酸（UTP）の効果
○塩野まき、神原 萌、成田貴則、岡林 堅

2. イヌ脳腫瘍の発現解析に用いる内部標準遺伝子の検討

○灘岡佐和子、高城早希、成田 貴、伊藤大介、北川勝人、岡林 堅

座長：越後谷裕介（実験動物学研究室）

3. イヌ滑膜線維芽細胞におけるグルコサミン塩酸塩による

シクロオキシゲナーゼ-2の脱グリコシル化

○北中葉菜子、中野 令、北中 卓、難波信一、中山智宏、杉谷博士

4. イヌ口腔メラノーマ細胞におけるインターロイキン1βによるシクロオキシゲナーゼ発現を介したメラノソフィア形成

○堀 甲二、中野 令、藤倉直人、北中 卓、北中葉菜子、難波信一、福島美和子、中山智宏、杉谷博士

5. イヌ口腔内メラノーマ細胞におけるインターロイキン1β誘導性シクロオキシゲナーゼ2発現に対するNF-κB経路およびMAPキナーゼ経路
○藤倉直人、中野 令、堀 甲二、北中 卓、北中菜菜子、難波信一、福島美和子、中山智宏、杉谷博士
座長：壁谷英則（獣医公衆衛生学研究室）
6. 熊本県天草地方のイノシシにおける豚コブウイルスの分子疫学的調査
○木庭彌達、大西秀吾、奈良崎和孝、奈良崎孝一郎、野上貞雄、遠矢幸伸
座長：大滝忠利（獣医臨床繁殖学研究室）
7. 牛における肝臓の硬度および脂肪沈着量の非侵襲的評価法の検討
○今村大和、大野真美子、有常眞菜美、西岡 忍、入江雄亮、堀北哲也

- 座長：加納 豊（獣医臨床病理学研究室）
8. リンパ球増多症をとまう犬の皮膚リンパ球症の病理学的検索
○山本成実、近藤広孝、佐藤常男、福富 輝、渋谷 久
座長：手島健次（獣医麻酔・呼吸器学研究室）
9. 上皮向性皮膚型リンパ腫に対してCCNU（ロムスチン）による化学療法を行った犬の2例
○金城拓哉、吉川あかね、露木美波、廣田怜大、大場茂夫、加納 豊、亘 敏広
座長：滝山直昭（獣医内科学研究室）
10. 犬の新鮮骨折における犬由来組織え塩基性線維芽細胞増殖因子の骨癒合促進効果
○中條 駿、箕輪聖奈、山崎敦史、種子島貢司、関 真美子、浅野和之、舩廣善和、枝村一弥

総会資料

平成28年度 一般会計収支決算報告書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)
(単位：円)

収入の部	科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 本部会費		1,200,000	1,231,000	△ 31,000	会支部より1231名×1,000円
2. 学生会費		2,400,000	2,418,000	△ 18,000	校友会本部
3. 学協校友会交付金		200,000	200,000	0	学部より
4. 雑収入		174	7,219	△ 7,045	租税、ダイビングバンドヘッド代
5. 寄付金		300,000	600,000	△ 300,000	獣医師採用病院説明会
6. 前年度繰越額		475,826	475,826	0	平成27年度分
収入合計 (A)		4,576,000	4,932,045	△ 356,045	
支出の部	科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 経常費		1,850,000	2,033,939	△ 183,939	
(1) 一般会費		10,000	882	9,118	会議等
(2) 交際費		300,000	220,000	80,000	支部総会費・学・慶弔費・贈礼等
(3) 旅費交通費		960,000	824,752	135,248	支部総会費等
(4) 通信運搬費		80,000	23,980	56,020	通信料・郵送料
(5) 事務局運営費		500,000	964,325	△ 464,325	給与、消耗品等
2. 会費費		350,000	403,974	△ 53,974	会費33号（含発送料）部費増加
3. 名簿管理費		100,000	180,734	△ 80,734	業務委託費等
4. 学生会支援費		1,000,000	691,152	308,848	学生会費、同窓会費、学内行事等支援
5. 学費補助費		100,000	79,308	20,692	学費等
6. 補助費		200,000	200,000	0	第5回日本大学獣医学学会
7. 組織拡充費		400,000	259,200	140,800	ホームページ管理費等
8. 特別会計Ⅰ		0	0	0	名簿作成へ
9. 特別会計Ⅱ		200,000	200,000	0	将来事業基金、ANMEC研究助成金
10. 特別会計Ⅲ		0	0	0	角笛学生会支援基金
11. 予備費		246,000	0	246,000	
支出合計 (B)		4,576,000	4,178,307	397,693	主要要員10円旅行

平成28年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 753,738 円

平成28年度 懇親会費収支報告書

(単位：円)

収入の部	科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 懇親会参加費		315,000	315,000	0	50人×5000円、既収
2. 学生会参加費		35,000	35,000	0	本部計（学生会支援費より）
収入合計		350,000	350,000	0	
支出の部	科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 懇親会費		350,000	350,000	0	

平成29年度 一般会計予算

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)
(単位：円)

収入の部	科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 本部会費		1,200,000	1,200,000	0	1200名×1,000円
2. 学生会費		2,400,000	2,400,000	0	校友会本部より
3. 学協校友会交付金		200,000	200,000	0	学部より
4. 雑収入		1,010,262	174	1,010,088	校友会本部、病院説明会参加費
5. 寄付金		0	300,000	△ 300,000	獣医師採用病院説明会
6. 前年度繰越額		753,738	475,826	277,912	
収入合計		5,564,000	4,576,000	988,000	
支出の部	科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 経常費		2,360,000	1,850,000	510,000	
(1) 一般会費		10,000	10,000	0	会議等
(2) 交際費		300,000	300,000	0	支部総会費・学・慶弔費・贈礼等
(3) 旅費交通費		1,000,000	960,000	40,000	支部総会費等
(4) 通信運搬費		50,000	80,000	△ 30,000	通信
(5) 事務局運営費		1,000,000	500,000	500,000	給与、消耗品等
2. 会費費		500,000	350,000	150,000	会費33号
3. 名簿管理費		200,000	100,000	100,000	業務委託等
4. 学生会支援費		1,200,000	1,000,000	200,000	学生会・卒業生支援、学生会費など
5. 学費補助費		100,000	100,000	0	学費等
6. 学費補助費		200,000	200,000	0	第5回日本大学獣医学学会
7. 組織拡充費		400,000	130,000	270,000	第10回日本大学獣医学系同窓・校友会
8. 特別会計Ⅰ		0	0	0	ホームページ管理費等
9. 特別会計Ⅱ		0	0	0	名簿作成へ
10. 特別会計Ⅲ		400,000	200,000	200,000	将来事業基金、ANMEC研究助成金
11. 特別会計Ⅳ		0	0	0	角笛学生会支援基金
12. 予備費		74,000	246,000	△ 172,000	
支出合計		5,564,000	4,576,000	988,000	

平成28年度 特別会計Ⅰ収支決算報告書【名簿会計】

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)
(単位：円)

収入の部	科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 名簿作成繰入金		0	0	0	平成27年度分
2. 雑収入		22	28	△ 6	利息
3. 繰越額		3,251,978	3,251,978	0	
収入合計 (A)		3,252,000	3,252,006	△ 6	
支出の部	科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 名簿作成積立金		0	0	0	
2. 雑支出		0	0	0	
支出合計 (B)		0	0	0	

平成28年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 3,252,006 円

平成28年度 特別会計Ⅱ収支決算報告書【将来事業資金】

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)
(単位：円)

収入の部	科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 将来事業繰入金		0	0	0	平成28年度分
2. ANMEC研究助成金		200,000	200,000	0	
3. 雑収入		277	42	235	利息
4. 繰越額		3,648,723	3,648,723	0	
収入合計 (A)		3,849,000	3,848,765	235	
支出の部	科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 将来事業積立金		3,649,000	0	3,649,000	
2. ANMEC研究助成金		200,000	200,000	0	
3. 予備費		0	0	0	
支出合計 (B)		3,849,000	200,000	3,649,000	

平成28年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 3,648,765 円

平成28年度 特別会計Ⅲ収支決算報告書【支援基金】

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)
(単位：円)

収入の部	科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 角笛学生会支援基金		0	300,000	△ 300,000	支援金返還
2. 雑収入		0	0	0	
3. 繰越額		1,300,000	1,300,000	0	
収入合計 (A)		1,300,000	1,600,000	△ 300,000	
支出の部	科目	予算額	決算額	差 異	備 考
1. 角笛学生会支援基金		0	0	0	
2. 雑支出		0	0	0	
支出合計 (B)		0	0	0	

(備考：特別会計Ⅲの雑収入は特別会計Ⅱの雑収入内に含まれる。)

平成28年度次期繰越収支差額 (C) = (A) - (B) 1,600,000 円

平成29年度 特別会計Ⅰ予算【名簿会計】

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)
(単位：円)

収入の部	科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 名簿作成繰入金		0	0	0	一般会計より
2. 雑収入		994	22	972	預金利息等
3. 繰越額		3,252,006	3,251,978	28	
収入予算合計		3,253,000	3,252,000	1,000	
支出の部	科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 名簿作成積立金		2,953,948	3,252,000	△ 298,052	
2. 新ホームページ作成費		299,052	0	299,052	
3. 雑支出		0	0	0	
支出予算合計		3,253,000	3,252,000	1,000	

平成29年度 特別会計Ⅱ予算【将来事業資金】

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)
(単位：円)

収入の部	科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 将来事業繰入金		200,000	0	200,000	一般会計より
2. ANMEC研究助成金		200,000	200,000	0	一般会計より
3. 雑収入		235	277	△ 42	預金利息等
4. 繰越額		3,648,765	3,648,723	42	
収入予算合計		4,049,000	3,849,000	200,000	
支出の部	科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 将来事業積立金		1,257,000	3,649,000	△ 2,392,000	※旧式典及び記念誌作成費の繰上積立
2. ANMEC研究助成金		200,000	200,000	0	
3. 110周年記念事業費		2,592,000	0	2,592,000	資料のデータ化
4. 予備費		0	0	0	
支出合計		4,049,000	3,849,000	200,000	

平成29年度 特別会計Ⅲ予算【支援基金】

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)
(単位：円)

収入の部	科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 角笛学生会支援基金		0	0	0	
2. 雑収入		0	0	0	
3. 繰越額		1,600,000	1,300,000	300,000	
収入予算合計		1,600,000	1,300,000	300,000	
支出の部	科目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 角笛学生会支援基金		1,600,000	1,300,000	300,000	
2. 雑支出		0	0	0	
支出合計		1,600,000	1,300,000	300,000	

(備考：特別会計Ⅲの雑収入は特別会計Ⅱの雑収入内に含まれる。)

平成29年度角笛会主催 獣医師採用病院説明会の開催

事務局長 鯉 江 洋 (平成2年卒)



獣医師採用病院説明会の様子

平成29年6月24日(土)(平成29年度日本大学獣医学会・角笛会合同大会と同日)、日本大学生物資源科学部1号館 学生ホール、111、112、113講義室において、角笛会準会員である獣医学科学生のための獣医師採用病院説明会が開催されました。説明会の趣旨・目的に賛同し、ご参加いただいた動物病院は39施設で、学生は215名(延べ人数)が参加しました。就職活動としては勿論のこと、低学年の動物病院見学や実習などさまざまな情報交換が行われ、動物病院、学生の双方から有意義なイベントとなったと好評を得ました。来年度も開催を予定しておりますので、多くのご参加をお待ちしております。

110周年記念事業について

事務局 岡 林 堅 (平成13年卒)

1907年の東京獣医学校設立から数え、日本大学生物資源科学部獣医学科は創立110周年を迎え、記念事業に取り組むこととなりました。

角笛会事務局では、大正2年から昭和47年までの卒業アルバム30冊を保管しております。貴重な財産であるこれら卒業アルバムについて、万全な状態で長期間保存するために、デジタル化を推進し、長期間の保存を目指すことを「110周年記念事業」として取り組んでいきます。デジタル化した卒業アルバムについては、角笛会や本学獣医学科の歴史を学ぶ重要な教育資料として活用し、また角笛会会員の皆様にご覧いただけるよう計画しております。



スポーツフェスタ 2017

1年次担任 北川 勝人 (平成2年卒) 小熊 圭祐 (平成13年卒)

平成29年5月15日(月)に、毎年恒例の生物資源科学部新入生によるスポーツフェスタが生物資源科学部グラウンドにて開催されました。天候は曇りで、やや風の吹く日でした。獣医学科は角笛会の援助をいただき、今年度も学生達が獣医学科オリジナルTシャツをデザインして作製し、スポーツフェスタに臨みました。今年度のTシャツは赤色の布地に様々な動物のシルエットが入ったもので、シンプルでありながら非常に美しい仕上がりとなりました。

スポーツフェスタは全参加学生による○×クイズで始まり、各学科ごとに、20名が跳ぶ回数を競う学科対抗大縄跳び、28名が7名4組に分かれてリレー形式で行う学科対抗ムカデ競争、30名が出場する学科対抗綱引き、大玉ころがしや二人三脚を含む5種目でたすきリレーをしながら進む学科対抗企画リレーのほか、男子200m、女子100mで男女4名ずつの計8名がバトンリレーをする学科対抗マジ本気リレーが行われました。今年度はその学科対抗マジ本気リレーにおいて、他の学科の選手と抜きつ抜かれつのデッドヒートを繰り広げた末に、獣医学科がなんと1位の栄光を手に入れました。リレー中はすべての獣医学科学生だけでなく担任も、目の前の懸命の走りに大変興奮し、大きな声援を送っていました。総合成績は全12学科中7位ではありましたが、リレーの1位という成績をおさめた走りのもとに、走者だけでなく応援をした獣医学科学生全体が一つにまとまったと感じたスポーツフェスタでした。この一体感を卒業まで大事にして学生生活を過ごしてほしいと思います。



動物病院だより

動物病院長 中山 智 宏

平素より日本大学動物病院の運営にご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、最近の主な人事から動物病院の近況をご報告いたします。本年4月に住吉俊亮先生（平成11年3月に東京農工大学獣医学科卒業）が神奈川県農業共済家畜診療所より獣医産業動物臨床学研究室に専任講師として赴任しました。また、獣医臨床繁殖学研究室の津曲茂久教授が定年退職し、特任教授となったことにより、獣医産業動物臨床学研究室の堀北哲也教授が獣医臨床繁殖学研究室の教授に異動しました。このことから、獣医産業動物臨床学研究室は、住吉俊亮専任講師と大野真美子助教との2名体制、獣医臨床繁殖学研究室は堀北哲也教授、津曲茂久特任教授、大滝忠利准教授の3名体制となり、なお一層の産業動物診療と臨床教育の充実を図っています。

有給研修医は、本年度に9名の新卒獣医師を採用しました。その結果、4年目までの全研修医数は26名となりました。これは他の多くの獣医科大学附属動物病院と比較して、かなり多い人数であり、本院の動物診療における大きな支えとなっています。今後も充実した魅力ある研修医制度を整え、可能な限り多くの研修医に優れた卒業研修の場を提供したいと考えています。

次にメディアに目を向けますと、平成28年9月10日発売の週刊東洋経済で、「みんなペットに悩んでいる」という特集が組まれ、その中で「プロが本当に信頼する動物病院」として、日本大学動物病院が第1位にランキングされたことを昨年のこの便りにてお伝えしました。ランキングの集計には多少問題はあるものの、第1位に選ばれたことは学外より大きな反響がございました。最近ではテレビ神奈川から、本院で一生懸命に勉強する獣医学科学生の姿を視聴者や父兄に伝えたいとの趣旨でテレビ取材があり、9月26日に「猫のひたいほどワイド」という正午からの番組にて本院における学生教育のごく一部が紹介されました。これは地方放送ですので、全国組織である角笛会としては目にされなかった方が多いことは残念です。それでも神奈川県という人口が集中する地域で、また、来院される多くの飼い主さんが県内ということを考えますと、この放送は本院を知っていただく上で、意義が高いものです。このように本院がメディアの取材を受ける機会が増えていることは、「動物は家族の一員」という飼い主さんの意識がなお高まっていることの表れであると思われます。このことから、今後も本院の診療体制および内容の充実を図り、飼い主さんから信頼される動物医療施設として、より一層認識されるよう努めていきたいと思えます。

全国の獣医科大学附属動物病院共通の大きな課題である参加型臨床実習が来年度より本学でも開始されます。その概要は従来見学のみであった病院内での実習に代わり、診療支援として学生が患者動物に触れ、また飼い主さんと直接お話しをする機会を与えるものです。参加型臨床実習を実施するにあたり問題となることは、教員数の絶対的な不足です。これまで動物病院は獣医療の高度化に向けて努力し、施設や機器の充実を図って参りました。参加型臨床実習の導入構想が始まり、学生に対する臨床教育が後手に回っていたことがあらためて顕在化しています。歴史ある獣医学教育において、臨床教育は長らく重点が置かれてこなかったことから、教員数を大幅に増やすような急な改革には無理があります。そのことから、何らかの形で臨床教育スタッフを少しでも多く確保する計画が必要となっています。また、充実した実習には症例数の確保も非常に大切なことです。どうか、開業獣医師の先生方におかれましては、引き続き貴重な症例のご紹介をお願い申し上げます。動物病院では皆様の見学を歓迎しています。お近くにお越しの際には、是非、ご連絡下さい。

ANMECセミナー開催報告

ANMEC セミナーは、臨床に必要な基礎から新知見まで網羅した多くの情報の発信源です。ご興味をお持ちの先生方は、どうぞご参加下さい。

平成28年度 ANMECセミナー開催（第235回～第240回）

第235回（H28.10.17開催）

演題：獣医歯科治療の実践

大場茂夫先生（獣医歯科学研究室）

第236回（H28.11.21開催）

演題：これだけ！！肥満細胞腫

近藤広孝先生

（米国獣医病理学専門医、どうぶつの総合病院 病理科）

第237回（H28.12.19開催）

演題：獣医臨床検査の基礎

井澤治彦先生（モノリス日大ラボ 検査責任者）

第238回（H29.1.23開催）

演題：脊髄疾患のMRI診断

伊藤大介先生（獣医神経病学研究室）

第239回（H29.2.20開催）

演題：院内と手術室での感染を抑える

—滅菌と消毒に関する最新の基本的概念—

吉田織江先生

（かんじ動物病院、日本大学獣医外科学研究室 研究員）

第240回（H29.3.13開催）

演題：研修医修了による症例検討会

ANMEC有給研修医修了予定者3名

平成29年度 ANMECセミナー開催（第241回～第242回）

第241回（H29.4.17開催）

演題：イヌとネコの麻酔学 up to date

関 瀬利先生（日本大学動物病院 支援獣医師）

第242回（H29.7.10開催）

演題：アメリカ獣医療の新しい動向（統合獣医学）

Dr.Mushtaq Memon（WSU名誉教授）

動物医科学研究センターセミナー開催報告

動物医科学研究センターセミナー開催（第122回～第130回）

第122回（H28.12.13開催）

演題：希少種保全のための野生化イエネコ対策

奄美大島と徳之島の問題

山田文雄先生（森林総合研究所）

第123回（H29.1.17開催）

演題：ウイルスの複製を選択的に阻害する化合物の探索

ー逆化学遺伝学的アプローチー

小川健司先生（理化学研究所）

第124回（H29.2.14開催）

演題：腸内細菌による宿主細胞の機能調節

高橋恭子先生（日本大学生物資源科学部 応用生物科学科）

第125回（H29.5.9開催）

演題：研究成果の発信力ー野生動物の感染症研究を例にー

佐藤雪太先生（日本大学生物資源科学部 獣医学科）

第126回（H29.6.13開催）

演題：質量分析イメージングによる低分子代謝物の可視化

井上菜穂子先生

（日本大学生物資源科学部 海洋生物資源科学科）

第127回（H29.7.11開催）

演題：フグは毒を何に使うのか？

その毒はどこから獲得するのか？

糸井史朗先生

（日本大学生物資源科学部 海洋生物資源科学科）

第128回（H29.9.19開催）

演題：研究の進展で見えてきたノロウイルスの本当の姿

片山和彦先生（北里大学 北里生命科学研究科）

第129回（H29.10.10開催）

演題：新興再興人獣共通ウイルス感染症

ーニパウイルス感染症ー

米田美佐子先生

（東京大学医科学研究所 実験動物研究施設部門）

第130回（H29.11.14開催）

演題：病原大腸菌の研究・検査におけるゲノム情報の利用

井口 純先生（宮崎大学農学部 畜産草地科学科）

獣医学科の近況

【獣医師国家試験】

第68回獣医師国家試験が平成29年 2 月14日、2 月15日にTOC有明 4 階にて行われました。日本大学獣医学科から138名が受験し、112名が合格しました。合格率は81.2%（全国平均87.5%）でした。

【表彰、受賞】

平成28年度の卒業生のうち優等賞が小林淳也さん、学部長賞が中澤 慈さん、山口博子さん、日本獣医師会長賞が國本紗和さん、角笛会長賞が岡本麻里さん、寺井和幸さん、角笛会特別賞が吉岡卓也さんにそれぞれ授与されました。また、校友から、岡野公禎さん（おかの動物病院：平成17年卒）、教員から佐藤雪太先生（実験動物学研究室）が学部長賞を授与されました。

【博士（獣医学）の学位取得者】

平成28年度 課程博士：松浦雄太氏、田村 大氏

論文博士：種村高一氏

平成29年度 論文博士：北中 卓氏、今野忠好氏

【退 職】

佐藤常男教授（獣医病理学研究室）、浅野隆司教授（獣医薬理学研究室）、杉谷博士教授（獣医生化学研究室）、野上貞雄教授（医動物学研究室）、津曲茂久教授（獣医臨床繁殖学研究室）、中西照幸教授（魚病学研究室）、泉對博教授（獣医伝染病学研究室）、湯川眞嘉教授（実験動物学研究室）、入江彩香実習助手（学科事務室）、小池未記実習助手（家畜病院）が退職されました。

【人事・昇格】

伊藤琢也先生（獣医衛生学研究室）、佐藤雪太先生（実験動物学研究室）が教授に、大滝忠利先生（獣医臨床繁殖学研究室）が准教授に、鈴木由紀先生（獣医衛生学研究室）が専任講師に昇格されました。

【異 動】

堀北哲也教授が獣医産業動物臨床学研究室から獣医臨床繁殖学研究室に異動いたしました。

【新 任】

住吉俊亮専任講師（獣医産業動物臨床学研究室）、近藤広孝専任講師（獣医病理学研究室）、片倉文彦助教（魚病学研究室／比較免疫学研究室）、越後谷裕介助教（実験動物学研究室）、増田 絢助手（医動物学研究室）、新堀千里実習助手（学科事務室）、田崎成美実習助手（家畜病院）が採用されました。また、杉谷博士再雇用教授（獣医生化学研究室）、泉對博再雇用教授（獣医伝染病学研究室）、佐藤常男特任教授（獣医病理学研究室）、津曲茂久特任教授（獣医臨床繁殖学研究室）、中西照幸特任教授（魚病学研究室）が採用されました。

■新任の先生の自己紹介



（獣医産業動物臨床研究室）
住吉俊亮専任講師

角笛会の皆様、初めまして。平成29年4月より獣医産業動物臨床学研究室の専任講師として着任しました住吉俊亮と申します。出身は広島県廿日市市、平成11年に東京農工大学を卒業しました。卒業後、小動物と馬の開業医院に約2年間勤務した後、熊本県の産業動物の開業医院に約6年間、神奈川県農業共済組合に約10年間と合計16年間、主に牛の診療業務に携わってきました。この間、神奈川県農業共済組合在職中の平成24年に岐阜大学連合獣医学研究科において「乳牛の発情徴候と授精適期に関する研究」で獣医学博士号を取得いたしました。日本大学でも引き続き乳牛の繁殖関係の研究をメインに行っていきたいと考えています。本学に赴任し、周りの皆様に支えて頂き、あっという間に半年が経過しました。着任当初は学生数の多さ、充実した設備、恵まれた環境に驚かされました。本学の近隣には多くの畜産農家が存在します。私は本学のある地元神奈川県で産業動物臨床に携わってきましたので、これまでの農家との繋がりを生かし、積極的に学生を現場に連れ出し、産業動物臨床の面白さを伝えていけたらと考えています。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



（獣医病理学研究室）
近藤広孝専任講師

今年度より、本学獣医病理学研究室に専任講師として着任しました近藤広孝です。どうぞよろしくお願い致します。略歴を紹介させていただきますと、中高共に日大付属校を卒業し、本学獣医学科へ進学しました。2006年に卒業後、そのまま大学院へ進学し、2009年に修了しました。学生・大学院生時代は獣医病理学研究室に所属し、佐藤常男先生、渋谷 久先生にご指導を賜りました。その後渡米し、フロリダ大学にてAnatomic Pathology（解剖病理学）のレジデント課程を経験し、2013年に米国獣医病理学専門医試験に合格しました。大学教員という職に不慣れなため、未だ戸惑いを感じているのは事実ではありますが、教育・研究・診療の重要性を理解し、これまでに得た経験や知識を還元していきたいと考えております。また、獣医療の3本柱（検査・診断・治療）の一角を担う診断業務をより充実させるべく、日々励みたいと思っております。



（魚病／比較免疫学研究室）
片倉文彦助教

2017年4月に魚病／比較免疫学研究室に助教として着任致しました片倉文彦と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。はじめに、角笛会会員の先生方におかれましては、在学中より多大なご支援を頂きましたこと、篤く御礼申し上げます。私は、学部学生時より本学で学び、本学大学院博士課程を2012年に修了した後、ポストドクターとしてカナダの大学や本学で勤務しておりました。在学時より一貫して、魚類の免疫学研究に携わっており、免疫細胞の発生や機能制御に関する研究、魚類をモデルとした幹細胞生物学研究に取り組んでいます。生物種毎にその生理機構を深く理解することが、対象動物が極めて多様な獣医学の発展に繋がるとの思いで研究に取り組んでいます。本学学生の熱意に応えられるよう、また日本大学の発展のため、日々教育・研究に精進していきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



（実験動物学研究室）
越後谷裕介助教

本年度より実験動物学研究室に助教として着任した越後谷裕介と申します。立佞武多（たちねぶた）や津軽三味線発祥など歴史文化資源が豊富な青森県五所川原市の出身です。2007年に本学獣医学科を卒業し、2011年には酒井健夫先生および伊藤琢也先生のご指導のもと、ウマ骨格筋の糖代謝に関する研究で本学大学院を修了しました。大学院在籍中は、佐藤雪太先生がお取りまとめされていた国際協力機構との共同プロジェクト「ウガンダ家畜疾病対策計画」に獣医師として参画させていただきました。大学院修了後は、国立長寿医療研究センターにて骨格筋の老化に関する研究を行い、その後5年間はカナダ・アルバータ大学に勤務し、様々な実験動物を用いて遺伝性筋疾患に対する核酸医薬の開発と病態メカニズムの解明に取り組んできました。研究に係る動物の適正な使用法を議論し精錬していくことは、医療技術の進展に不可欠であり、獣医師が果たす役割は極めて大きいと考えています。様々な分野と密接に関わっている実験動物学を通して、動物と人の健康維持、その関わり合いについて学生と共に考えていきたいと思っています。

今後は諸先生のご指導を仰ぎながら、本学獣医学科ならびに獣医学の発展に少しでも貢献できるよう、真摯に教育・研究に取り組んで参りたいと思っております。ご指導、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



(医動物学研究室)
増田 絢助手

平成29年 4 月に医動物学研究室に助手として着任しました増田絢と申します。平成21年に日本大学を卒業後、スコットランドのエジンバラ大学で、修士号と博士号を取得し、母校に戻ってきました。スコットランドでは、宿主の栄養状態と寄生虫感染時の免疫応答をテーマに研究をしていました。現在の研究室でも、獣医寄生虫学分野に新たな知見を加えるべく日々奮闘しています。至らない点多々あるかと存じますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

■平成29年度獣医学科入試状況

選抜方法	募集人員	受験者数	合格者数	競争率
本校試験（第 1 期）	35名	1,025名	111名	9.2倍
本校試験（第 2 期）	15名	512名	30名	17.1倍
センター試験利用	10名	492名	24名	20.5倍
一般推薦（公募制）	学部全体で100名	38名	28名	1.4倍
一般推薦（公募制・関連産業後継者）	学部全体で26名	9 名	5 名	1.8倍
校友子女推薦（公募制）	学部全体で28名	11名	3 名	3.7倍

■学年担任（平成29年度）

- 1 年次 北川勝人教授（獣医神経病学）、小熊圭祐専任講師（獣医伝染病学）、西村知良准教授（一般教養）
- 2 年次 山谷吉樹教授（獣医麻酔・呼吸器学）、関真美子専任講師（獣医外科学）
- 3 年次 五味浩司教授（獣医解剖学）、鈴木由紀専任講師（獣医衛生学）
- 4 年次 渋谷 久教授（獣医病理学）、松本 淳准教授（医動物学）
- 5 年次 亘 敏広教授（獣医内科学）、大滝忠利准教授（獣医臨床繁殖学）
- 6 年次 鯉江 洋教授（獣医病態生理学）、齋藤光芳専任講師（獣医薬理学）

トピックス

中川秀樹会長 旭日小綬章受章

角笛会会長 中川秀樹氏は、長年にわたる畜産振興・公衆衛生の向上・動物福祉精神の向上に尽力された功績により「旭日小綬章」受章の栄誉に輝きました。これを記念して、平成28年12月18日（日）に横浜ホテルニューグランド ペリー来航の間にて祝賀会が開催されました。



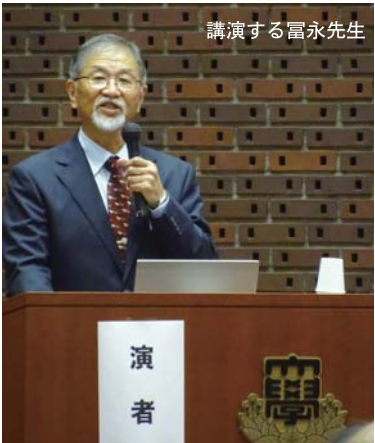
横浜市獣医師会会長
井上亮一氏(昭和50年卒)

第16回日本大学医療系同窓・校友学術講演会の開催

事務局 岡 林 堅（平成13年卒）

第16回日本大学医療系同窓・校友学術講演会（医学部同窓会、歯学部同窓会、松戸歯学部同窓会、薬学部校友会、獣医学科校友会・角笛会）が平成29年10月 7 日（土）「国際協力」をテーマにシンポジウム形式で開催されました。第11回から共通テーマを設けており、講演後に開催する総合討論で自由な情報交換が行われました。今回は薬学部校友会が当番幹事で、学長 大塚吉兵衛先生にご臨席を賜り、また来賓としてご挨拶を頂戴いたしました。角笛会の講演は、(株)熱帯畜産コンサルタント 代表取締役の富永秀雄先生（昭和45年卒）が「農民の心に火を灯す国際協力」と題して発表しました。

講演会後の懇親会は、学部を超えた懇親の輪が広がっておりました。日本大学医療系同窓・校友学術講演会は毎年 9、10月頃開催し、日本大学医療系学部の校友が集う唯一の講演会です。また日本獣医師会の獣医師生涯研修プログラムの単位認定がありますので、角笛会会員以外の獣医師もお誘いの上、是非ご参加下さい。



◎第16回日本大学医療系同窓・校友学術講演会
日 時：平成29年10月 7 日（土） 13：30～
場 所：日本大学会館 大講堂
司会・進行
日高慎二（薬学部医薬品評価科学研究室 教授）
開会の辞
内倉和雄（当番学部挨拶 薬学部校友会 会長）
来賓挨拶
大塚吉兵衛先生（日本大学学長）
第 1 講演 日本大学医学部同窓会
・医療現場に求められる国際協力の形
ー現在の日本が直面する医療・介護の課題ー
演者：安藤高夫（医学部同窓会 副会長）
座長：平山晃康（医学部脳神経外科系神経科学分野 教授）
第 2 講演 日本大学歯学部同窓会
・東南アジアにおけるICT人材育成の教育研究戦略
ーラオスにおける口腔保健医療分野の基盤形成ー
演者：中島一郎（歯学部 医療人間科学分野 教授）
座長：荒井法行（歯学部同窓会 学術委員）
第 3 講演 日本大学松戸歯学部同窓会
・松戸歯学部のトンガ王国における国際歯科保健活動
演者：遠藤真美（松戸歯学部 障害者歯科学講座 専任講師）
座長：大越良隆（松戸歯学部同窓会 学術委員）
第 4 講演 日本大学生物資源科学部獣医学科校友会 角笛会
・農民の心に火を灯す国際協力
演者：富永秀雄（株式会社 熱帯畜産コンサルタント 代表取締役）
座長：佐藤雪太（生物資源科学部獣医学科 実験動物学研究室 教授）
第 5 講演 日本大学薬学部校友会
・自衛隊の薬剤官と国際貢献
演者：大塚正征（一般財団法人 防衛医学振興会 薬局長）
座長：林 宏行（薬学部 薬物治療学研究室 教授）
総合討論
座長：林 宏行（薬学部 薬物治療学研究室 教授）
閉会の辞
梶原 優（次回当番学部 医学部同窓会 会長）
懇親会
司会・進行：日高慎二（薬学部医薬品評価科学研究室 教授）

平成28年度 角笛会支部総会・他学科分科会の活動状況と派遣者一覧

H28年度は全国の22支部に教員を派遣しました。多くの支部が活発に活動している様子がうかがえます。

H28年 5月14日(土)	富 嶽 会 総 会	中 川 秀 樹	11月10日(木)	神奈川県支部（本学部）	中川秀樹、学科教員
6月4日(土)	い も づ る 会 総 会	中 川 秀 樹	11月19日(土)	紫 友 会 懇 親 会	中 川 秀 樹
6月11日(土)	桜 水 会 総 会	中 川 秀 樹	11月13日(日)	横浜市角笛会開業部会（本学部）	枝 村 一 弥
7月9日(土)	学 部 校 友 会 総 会	学科教員	12月18日(日)	福島県支部（郡山市）	亘 敏 広
7月10日(日)	北海道支部（札幌市）	山 谷 吉 樹	H29年 1月10日(火)	東 京 角 笛 会	杉 谷 博 士
7月24日(日)	京 都 支 部（京都市）	津 曲 茂 久	1月14日(土)	沖縄角笛会（那覇市）	鯉 江 洋
7月24日(日)	栃 木 支 部（宇都宮市）	丸 山 総 一	1月21日(土)	長崎県支部（長崎市）	齋 藤 光 芳
7月31日(日)	高知県支部（高知市）	浅 野 和 之	1月29日(日)	福岡県支部（福岡市）	森 友 忠 昭
8月20日(土)	東北北海道支部（中標津）	枝 村 一 弥	2月11日(土)	茨城県支部（水戸市）	渋谷 久
8月20日(土)	長野県下伊那支部（飯田市）	鯉 江 洋	2月12日(日)	千葉県支部（千葉市）	渋谷 久
9月3日(土)	熊本県支部（熊本市）	森 友 忠 昭	2月24日(金)	山形県支部（天童市）	岡 林 堅
10月8日(土)	岐阜県支部（岐阜市）	岡 林 堅	3月12日(日)	静岡県支部（静岡市）	中山 智 宏
10月22日(土)	宮崎県支部（宮崎市）	鯉 江 洋	3月19日(日)	群馬県支部（高崎市）	津 曲 茂 久
10月22日(土)	岩手県支部（盛岡市）	伊 藤 琢 也	(敬称略)		

平成29年度 角笛会支部総会・他学科分科会の活動状況と派遣者一覧

平成29年度も昨年と同様に各支部へ教員を派遣しております（平成29年11月26日現在）。教員の派遣を希望される支部は事務局までご一報下さい。

H29年 6月10日(土)	桜水会懇親会	中川秀樹	10月14日(土)	岐阜県支部（岐阜市）	越後谷 裕 介
7月 8日(土)	学部校友会総会懇親会	学科教員	10月28日(土)	宮崎県支部（宮崎市）	渋谷 久
7月16日(日)	北海道支部（札幌市）	枝村 一 弥	10月28日(土)	岩手県支部（盛岡市）	岡 林 堅
7月23日(日)	新潟県支部（新潟市）	鯉江 洋	11月16日(木)	神奈川県支部（本学部）	学科教員
8月19日(土)	東北北海道支部（釧路市）	津曲 茂 久	11月24日(金)	山形県支部（天童市）	鯉江 洋
9月 2日(土)	熊本県支部（熊本市）	丸山 総 一	11月26日(日)	横浜市角笛会開業部会（本学部）	山谷 吉 樹
9月15日(金)	鹿児島県支部（鹿児島市）	鯉江洋、岡林堅、齋藤光芳	(敬称略)		

角笛会関連記事(支部だより)

群馬県支部だより



健康寿命をいかに伸ばすかといった重要なテーマについて、非常にウイットに富んだ楽しい内容で参加者から大好評でした。講演時間が足りず、用意されたスライドの説明を全て聞けなかったことは非常に残念でした。また、遅れて講演を聞けなかった会員からは落胆の声が聞かれました。

総会・講演会終了後には懇親会を開催し、田村支部長と平井大先輩の挨拶の後、吉野英章氏（昭和44年卒）による尺八の演奏と乾杯が行われ、会員の職域、老若男女の域を超え、楽しくかつ賑やかな雰囲気の間となりました。懇親会終了時には、毎年恒例となっています伊藤昌司氏（昭和61年卒）に日大節を舞って頂き、盛会のうちに終了となりました。

津曲先生には翌日、臨床繁殖学研究室の卒業生と一緒に世界遺産の「富岡製糸工場」を見学していただきました。来年も新規会員を誘うとともに多くの会員に出席していただき、母校や会員相互の絆を深めていきたいと思いま

文責：群馬県支部事務局 小茂田匡央（昭和56年卒）



神奈川県支部だより

平成28年11月10日（木）、「日本大学生物資源科学部」にて開催。

派遣教員：中川秀樹、獣医学科教員



■宮崎県支部だより

平成28年10月22日（土）、「和食の橋」にて開催。

派遣教員：鯉江 洋



■石川県支部だより

平成29年 2 月24日（金）、金沢都ホテルにて開催。

参加教員：野上貞雄、津曲茂久、丸山総一、遠矢幸伸、
鯉江 洋、壁谷英則、佐藤真伍



■新潟県支部だより

平成29年 7 月23日（日）、「万代シルバーホテル」にて開催。

派遣教員：鯉江 洋



■鹿児島県支部だより

平成29年 9 月15日（金）、「ホテル パレスイン鹿児島」にて開催。

派遣教員：鯉江 洋、岡林 堅、齋藤光芳



■岐阜県支部だより

平成29年10月14日（土）、「うを義」にて開催。

派遣教員：越後谷裕介



事務局よりお願い

「支部だより」「同期会だより」を充実させるため、総会・懇親会で撮影した写真と文章をお送りください。各支部の様子を写真付きで紹介させていただきます。ご協力のほどよろしくお願いします。

支部総会に現職教員を派遣します。ご要望がありましたら、事務局までご相談下さい。

■長崎県支部だより

平成29年 1 月21日（土）開催。

派遣教員：齋藤光芳

後列左から、吉田明信先生（会計）、千々岩清彦先生、吉岡万里子先生、堤壮太郎先生、吉岡大介先生（監事）、田添長生先生（新監事）、松田廣志先生、清浦邦彦（事務局）

前列左から、福田雅明先生（新支部長）、齋藤光芳先生（獣医薬理学研究室）、吉原國康先生（旧副支部長）、渡邊方親先生（新副支部長）



■ 沖縄角笛会 リスタート！

もう20年以上前になるだろうか。私は沖縄の地で角笛会のメンバーとなっていた。臨任先の職場の先輩に誘われ、初めて総会に参加した時のことは、いまだによく覚えている。那覇市内のホテルの宴会場で、親というよりは祖父の代と思われる先輩方がたくさんいらして、かなりの賑わいを見せていた。その中でも明らかに長老と思しき先生の前に連れてこられた私は、一生懸命自己紹介をしていたのだが、そのご長老はすでに耳がかなり聞こえづらくなっていたようで、「今日は結構な料理をありがとうございます。」と丁寧私に頭を下げていらした。ご長老にホテルのスタッフと間違われながらも、二言三言会話を交わし、代わるがわる挨拶に来られる先輩方に席を譲った。ご長老の挨拶、次期会長の選出、集合写真の撮影と、総会らしい行事が続いて幕を閉じる、そんな総会であった。



それから時は過ぎ、ご長老は他界され、いつしか総会の参加者は少なくなっていった。私も仕事や育児に追われ、総会の案内葉書に返信することもなくなっていた。離島に転勤後はついに案内葉書も届かなくなり、いつしか角笛会という言葉に接することもなくなっていた。そんな折、久しぶりに他職場の先輩からお電話を頂いた。先輩は角笛会の副会長、同じ職場に会長も在籍されていた。聞くところによると、当時の角笛会はかくかくしかじかで休止状態にあるという。あら～！そんなことになってたの～！？と驚いていたのだが、どうやら本部とのパイプも切れかけているらしいとのこと。それは大変だ！と、二つ返事で事務局長を引き受け、すでに消えかけている沖縄角笛会のリスタートを切ることになった。以前の資料は全くないので、東京角笛会の先輩に指示を仰ぎながらもずは会則案を作った。その後、本部への会費の納入・・・。出納簿も残高も無い中、どうしようかと思っていたら、そこはやはり会長と副会長、資金面は任せろ！とばかりに会費を用立ててくださった。とにかく本部に支払いを済ませ、会則案の承認と会費の徴収のため、とり急ぎ総会を開催することにした。名簿も無いので人海戦術、思い出した日大生に片っ端から連絡を取った。久しぶりに連絡を取る先輩方はそれはそれはお優しく、御無沙汰をお叱りになるより、リスタートを応援してくださる方が本当に多かった。しかしながら先輩方もかなりご高齢で、総会参加はかなり厳しい状況であった。ふと気が付くと自分もすでに中高年の仲間入りをしており、若手に声をかけようにも長い間総会を開催していなかったため、誰が日大生かもわからない状態。ましてや、「〇〇さんがそうだよ」と連絡先を教えられても、突然見ず知らずのおばさんから「ちょっと集まりましょうよ！」なんていうお誘いがあったりも乗ってくるはずもなく、リスタート1回目の総会は、60代から40代（一番下は私）のかろうじて繋がりを保っているメンバーのみでこじんまりと開催した。

それでも集まってくくださった皆さんは、にわかに作り上げた会則案も、ほとんどノープランの活動計画も温かく承認してくださり、次回は誰々も誘おうとか、〇〇も日大生だったよとか、次はこんなことをしたらどうか、等の発展的なお話をいくつも頂いた。

先輩方に背中を押してもらった「木に登る豚」の私は、正式に事務局長として本部ともやりとりをさせていただくことになり、「角笛会支部の総会には本部から講師を派遣できる」との耳より情報を入手することができた。早速次の総会時にこの話を会員の皆様にご紹介したところ、来年はぜひどなたか来ていただき、講習会を開いてはどうか、との意見が多数挙がったのだ。沖縄という立地上、藤沢の情報は全く聞こえてこない上に、主な学会や講演会はほとんど首都圏で行われていることから、本部からの講師招聘はまさに願ったりかなったりだ。

そしてついに、平成28年度の支部総会に、鯉江事務局長をお招きするに至ったのである。それまでは居酒屋の一



角で細々で行っていた総会も、獣医師会の会議室を借りて講演会スタイルをとった。鯉江事務局長には「最近の日本大学の動向について」と題して、現在の日大の様子や角笛会各支部の近況報告を詳しく紹介していただいた。会員からはため息や感嘆の声が次々とあがっていたが、日大との距離がずいぶん縮まったような気がしたのは私だけではないであろう。その後の懇親会でも各地の角笛会員の活動状況や、他大学との人事交流の話など、貴重なお話をたくさん聞くことができた。なかには数年ぶりに参加する方や初めて参加する方もいらしたが、次回の講演会の講師依頼希望や、角笛会功労者の推薦候補まで選出し、非

常に有意義な総会となった。

総会の決定を受けて、今年沖縄支部では屋富祖幸榮先生が角笛会から表彰を受けた。屋富祖先生は徐々に規模が縮小していく厳しい中で、角笛会の会長を引き受けていただいていた。屋富祖先生と表彰の授与を決定頂いた角笛会本部には心より感謝申し上げたい。

さて、次の総会は年明けの1月20日だ。少しずつではあるが、会員の参加人数も増えてきている。次回は若手の会員が一人でも多く参加してくれることを願っている。若い人が参加したら、すぐに仕事を押し付けられるんじゃないか・・・と思っている諸君、大丈夫！しばらくは私が事務局長ですから！！自分は今まで多くの先輩方から可愛がっていただいていた。同様に後輩にも角笛会を通して多くの先輩方を紹介していけたらいいと思う。5年後、10年後の広報誌にも続編が掲載できることを期待して・・・。

文責：沖縄角笛会事務局 翁長友理子（平成8年卒）



角笛会関連記事(同期会だより)

■昭和40年卒「常正会」



平成28年11月に福島県会津若松市「芦ノ牧グランドホテル」にて、昭和40年卒「常正会」を開催しました。



■平成28年進勇会開催報告

平成28年の進勇会（昭和45年卒）を地元幹事の大田君のお世話で10月29日（土）に飛騨高山で開催いたしました。私は、車で三島から新東名高速道路、東海環状・東海北陸自動車道で高山まで久しぶりの遠乗りでしたが快適なドライブを楽しみました。ひるがの高原は、丁度紅葉が見ごろでした。東海北陸自動車道は4車線化の工事中で、あと2年ほどで高山あたりまで整備されるようです。

宴会は、総勢21名で、恒例の各自近況も古希を迎えた感想やら世界情勢への意見、新たな趣味など多くの報告がありました。二次会カラオケも2時間でタイムオーバーでしたが予約された10曲近くをキャンセルし、全員で「また逢う日まで」を熱唱してお開きといたしました。

平成28年11月吉日 文責：大庭 芳和



堀内君「また逢う日まで」熱唱

上段 大庭・清水・幅田・大田・宮崎・安藤重忠・福田
 中段 耕崎・耕崎奥様・中条奥様・小倉奥様・小倉・河野
 下段 故横山奥様・中条・土屋・幅田(慶)・大庭(治)・堀内・早瀬・宮田

日本大学生物資源科学部獣医学科教員 (敬称略 H29.4.1現在)

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866
電話：0466-84-直通番号【獣医解剖学研究室】 6号館 教授 五味 浩司 3530
専任講師 安井 禎 3601【獣医病理学研究室】 6号館 教授 渋谷 久 3642
特任教授 佐藤 常男 3631
専任講師 近藤 広孝 3624

【獣医薬理学研究室】 6号館 専任講師 齋藤 光芳 3934

【獣医微生物学研究室】 6号館 教授 遠矢 幸伸 3635
助手 木庭 獵達 3487

【獣医生理学研究室】 6号館 教授 金山 喜一 3646

【獣医病態生理学研究室】 6号館 教授 鯉江 洋 3633

【獣医生化学研究室】 6号館 教授 杉谷 博士 3638
専任講師 岡林 堅 3634

【分子生物学研究室】 6号館 専任講師 成田 貴則 3848

【医動物学研究室】 6号館 准教授 松本 淳 3964
助手 増田 絢 3645【獣医臨床繁殖学研究室】 動物医科学研究センター
教授 堀北 哲也 3423
6号館 特任教授 津曲 茂久 3469
9号館 准教授 大滝 忠利 3479【獣医外科学研究室】 9号館 教授 浅野 和之 3370
准教授 枝村 一弥 3373
専任講師 関 真美子 3906【獣医臨床病理学研究室】 9号館 教授 鎌田 寛 3509
准教授 加納 壘 3518
専任講師 丸山 治彦 3519【獣医内科学研究室】 9号館 教授 亘 敏広 3899
准教授 坂井 学 3808
専任講師 滝山 直昭 3483
病院 専任講師 菅野 信之 3510【獣医放射線学研究室】 9号館 教授 中山 智宏 3422
専任講師 高橋 朋子 3450【獣医衛生学研究室】 動物医科学研究センター
教授 伊藤 琢也 3375
専任講師 鈴木 由紀 3382【魚病／比較免疫学研究室】 動物医科学研究センター
教授 森友 忠昭 3374
6号館 特任教授 中西 照幸 3383
動物医科学研究センター 助教 片倉 文彦 3381【獣医伝染病学研究室】 動物医科学研究センター
教授 泉對 博 3384
専任講師 小熊 圭祐 3368【実験動物学研究室】 動物医科学研究センター
教授 佐藤 雪太 3378
助教 越後谷裕介 3385【獣医公衆衛生学研究室】 動物医科学研究センター
教授 丸山 総一 3386
准教授 壁谷 英則 3377
助教 佐藤 真伍 3600【獣医麻酔・呼吸器学研究室】 病院
教授 山谷 吉樹 3524
専任講師 手島 健次 3527【獣医神経病学研究室】 病院
教授 北川 勝人 3649
専任講師 伊藤 大介 3904【獣医歯科学研究室】 病院
特任教授 大場 茂夫 3918【獣医産業動物臨床学研究室】
9号館 専任講師 住吉 俊亮 3488
動物医科学研究センター 助教 大野真美子 3464

学 会 関 連 記 事

第56回日本大学獣医学会開催案内

- 日 時：平成30年6月23日（土）（予定）
- 場 所：未 定
- 問 合 せ：事務局

事
務
局〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866
日本大学生物資源科学部
獣医衛生学研究室（伊藤 琢也）
TEL. 0466-84-3375
E-mail: itou.takuya@nihon-u.ac.jp

※角笛会のホームページは随時、更新されております。角笛会関係の行事予定、支部同窓会からのお知らせ、また最新の角笛会報など多くの情報を発信しております。さらにホームページから新住所の登録もできます。是非、お立ち寄り下さい。

ホームページアドレス
<http://www.tsunobue.org/>

編 集 後 記

この1年間、角笛会事務局として、岐阜県支部、神奈川県支部、山形県支部、鹿児島県支部、岩手県支部の総会および懇親会に参加させていただきました。各支部の皆様、ありがとうございました。初めてお会いする方も多くいらっしゃいましたが、同じ学び舎で過ごした先輩・後輩です。共通の話題も多く、また私の知らない大学の歴史をお聞きしたりしながら、楽しいひと時を過ごさせていただきました。獣医師は、産業動物、小動物、公衆衛生など職域が広いですが、どの支部も職域の壁などなく親睦を深めていたのが印象的でした。支部総会には、現役教員の派遣が可能です。ご希望があれば、現任教員による大学の近況や、小動物臨床や研究などさまざまな講演もお届けしています。

角笛会会報にご意見、ご希望等がございましたら、獣医生化学研究員の岡林 (okabayashi.ken@nihon-u.ac.jp) あるいは角笛会事務局 (tsuno-3@brs.nihon-u.ac.jp) までご連絡下さい。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。（平成29年11月 岡林 堅 平成13年卒）